

東京 IPO 特別コラム

2017年11月20日 Vol.103

今年もまたIPOラッシュのシーズン到来！！

11月9日に日経平均が2万3382円という高値をつけてから11月16日の2万1972円の安値まで6%の下落を見せてからの反発場面を経て、今週以降の株式相場は再び上昇に向かうとの期待がある一方で、多少為替が円高に向かってきたことを踏まえて頭重い展開になるとの見方もありやや強弱感が対立する局面になってきました。波乱後の相場展開は様子見気分が強まるというのが基本ではありますので下値不安には乏しいとしても、この間は中小型の材料株や値下がり傾向が続いてきたIPO銘柄への関心が高まるとの期待があります。

折しも11月後半から12月にかけてIPOがラッシュとなります。特に12月は7日のアトリエはるか(6559・セントレックス)から25日のABホテル(6565・JQ)まで一気に21社(本日現在)がIPOを予定。11月21日のサインポスト(3996)からは26社が立て続けにIPOの予定です。12月のIPOのラッシュは想定されていたことは言え、株式市場にとっては一時的に需給に影響をもたらします。特に12月のIPOには東証1部上場クラスが6銘柄も含まれていますので、一時的に資金がそこに向かう可能性があります。

とりわけ12月13日の佐川急便をグループに持つSGホールディングス(9143)は年商が1兆円、経常利益600億円に迫る企業のため、当然のごとく時価総額も大きく、一時的にせよ資金吸収がなされる可能性があります。また、11月28日の3社(幸和製作所、ポエック、クックビズ)のIPOに続き、12月13日、12月18日の各1日4社のIPOがスムーズに消化できるかが注目されます。一方でIPOラッシュは投資のチャンスでもあります。多くの個人投資家の皆さんがIPO銘柄への公開前の出資について申し込みを検討されているものと推察されますが、そのためにお持ちの株を売却して現金を確保されている投資家もお見えかも知れません。半島情勢もさることながら当面はこうしたIPOラッシュに伴う需給要因に留意しながら今後の相場展開を注視していく必要があります。

なお、筆者も現在、これからIPO予定の26銘柄について吟味中ですが、その中では福祉用具の幸和製作所(7807・JQ)、画像処理検査装置のヴィスコテクノロジー(6698・JQ)、医療関係者向け通販ビジネスを展開し東京プロ市場からの昇格第1号となる歯愛メディカル(3540・JQ)、光学薄膜装置製造の高収益企業、オプトラ(6235・東証1部)などに関心を持っています。また、マザーズ銘柄では訪日外国人ツアー会社のHANATOUR JAPAN(6561)やアドテクノロジー事業を展開するジーニー(6562)などに注目。東京IPOサイトにはそうした銘柄が一覧掲載されておりますので皆さんもぜひともご吟味頂ければ幸いです。

(東京IPOコラムニスト 松尾範久)